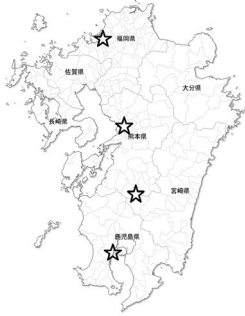


九州正教会だより 第53号



(福岡・熊本・人吉・鹿児島)

2024年2月1日発行

発行人：司祭グリゴリイ水野 宏

〒868-0081 熊本県人吉市上林町979-5 人吉司祭館

TEL / FAX 0966-24-7861

mail ocj.kyushu@gmail.com

ウェブサイト <https://www.ocj-kyushu.com/>



長年の願いの実現

司祭グリゴリイ 水野 宏

2月15日は、生後40日目のイエスが、律法に従ってエルサレムの神殿に献げられたことを記憶する主の迎接祭です。(左上のイコンは山下りん画「主之迎接」)

イエスの両親、ヨセフとマリアがイエスを連れて神殿に詣でた時、シメオンという老人に出会いました。シメオンは「正しい人で信仰があって、イスラエルの慰められるのを待ち望み、聖霊が彼にとどまっていた。そして主が遣わすメシア(救世主)を見るまでは死なない、とのお告げを聖霊から受けていた」(ルカ 2:25-26) 人物でした。

シメオンは幼児イエスを腕に抱き、神を讃えて言いました。

「主よ、今こそあなたはお言葉どおり、このしもべを安らかに去らせてくださいます。わたしはこの目であなたの救いを見たからです」(ルカ 2:29-30)

シメオンの年齢は聖書に記されていませんが、救世主の到来を何十年も願い続け、相当な高齢になっていたことは文脈から明らかです。そして、その願いがようやく実現し、待ち続けた自分の人生が報われたことへの喜び、また願いを実現させてくれた神への感謝の気持ち、彼の言葉に示されています。

今月、福岡に新教会「九州北ハリストス正教会」が開設されます。これまで14年に及ぶ伝道所での宣教活動という下地があったとはいえ、日本正教会の正式な教会管区がなかった都市に、新たに教会が開設されるのは戦後初めてです。九州の中心地であるにもかかわらず、教会がなかった福岡の信徒の皆さんにとって長年の願いの実現といえるでしょう。

もっとも、この度の教会開設はスタートであって、ゴールではありません。「安らかに去らせてくれる」などと言っていない。新たに聖堂を建立し、永続的な教会を築き上げるまで歩みは続きます。今後も皆様のお祈りとご支援をよろしくお願い申し上げます。